

交換留学生定期レポート（11月）

人間科学部人間科学科

武信瑞生

タイで生活して約3ヶ月になりこちらでの生活には完全に慣れましたが、ここ最近では食べ物なのか、水なのか、バンコクのどんよりとした空気のせいなのか、髪や肌、体調面に変化が表れるようになりました（タイ料理はとってもおいしいのですが）。未だに私の身体はタイに順応していないようです。

学校生活に関しては11月末に期末テストを迎え、1st semesterも残すところあとわずかとなりました。体調を崩すことなく頑張りたいです。



・行きつけのタイ料理屋さんのタイ料理。手前から、パッタイ（タイの麺料理）、揚げ鶏のガパオ（ガパオライス）、ソムタム（パパイヤサラダ）。

タイの魚醤であるナンプラーやハーブなど日本では馴染みのない材料を使った料理、辛みの強い料理などが多いのですがどのタイ料理もとてもおいしいです。

価格も1皿60バーツ（240円くらい）でリーズナブルに食べられますが、バーツ/円の為替レートを見ても今が一番高いので、タイで円安を痛感しながら生活しています。

タイでのビザの更新について

10月10日にビザの更新に行ってきました。外国人が学生として他の国に滞在する時学生ビザというものが必要になります。タイで留学する際にはノンイミグレーションEDという学生ビザを取得します。このビザは申請から90日経過または有効な国（タイ）を出国することで失効します。私は7月15日に申請したので10月14日までに更新を行う必要がありました。

バンコク周辺に滞在している外国人は学生のみならず、全員がバンコクイミグレーションオフィスでビザの更新を行います。イミグレーションの受け付けが開始される前にはビザ更新を行う人が並び始めるということだったので朝早くからタクシーを手配して向かいましたが、バンコクの大渋滞に巻き込まれ、結局到着したのは受け付け開始から1時間後でした。私が到着したときには既にイミグレーションはビザの手続きをする人でごった返しているというような状況で、受付で渡された番号札には「90人待ち」と書かれていまし

た。長い間番号を呼ばれるまで待ち、申請書類にも不備はなく、無事にビザの更新を行うことができましたが、この日私は10分程度のビザの更新の手続きのために5時間イミグレーションにいました。

公共交通機関を新たに整備しても改善されないバンコクの大渋滞や、外国人で溢れかえり明らかに人手が不足しているイミグレーションなど、非合理的で非効率的なことが多いと思うので、改善できないものかなあと思いながら生きています。



・バンコク三大寺院の一つ、巨大な涅槃像で有名な“ワットポー”。大学周辺はバンコクの旧市街地であり、有名な寺院や王宮、歴史的な町並みが見られます。タイ入国の規制が撤廃されたので日本人観光客も数多く見られるようになりました。

日本でのビザの申請について

私は日本でのビザの申請手続きに関してもかなり苦労しました。ビザの申請手続きはパスポートや留学先大学からの入学許可証など必要な書類を在日タイ王国領事館や大使館の領事部に直接提出する必要があります。書類に不備がなければ数日でビザが発行されるシステムです。私は家から一番近い大阪の領事館で手続きをしようと考えており、必要書類は大阪総領事館宛てに作成・準備していました。タイ王国大阪総領事館でノンイミгранト-EDの申請をするとき、必要書類の一つに“無犯罪証明書（犯罪経歴証明書）”というものがありませんでした。この書類は住民票を持つ都道府県の都道府県警察で直接申請をすることで取得可能な証明書でした。私は鳥取県に住民票を持つので鳥取県警に申請をしに行ったところ、タイへの留学というのが鳥取県においては無犯罪証明書の発給事由に当たらないということで、このような場合外務省による認証を経た“犯罪経歴証明書特別発給”の手続きを行わなければならないとのことでした。外務省にその旨を伝えたところこの手続きには最低でも2ヶ月かかるとのこと、出国を1ヶ月後に控えた私にとっては絶望的な状況だったことを覚えています。

しかしそんな私の状況を考慮し、外務省の方が無犯罪証明書の提出が不要な東京の大使館での手続きを勧めてくださいました。そこから大急ぎで在東京タイ王国大使館宛ての申請書類を準備し無事に東京でビザの申請を行うことができました。タマサート大学からの入学許可証は在東京タイ王国大使館宛てでかつ原本である必要があったので再び入学許可証をタイから郵送していただくというお手間をとらせてしまいましたが、協力していただいた島根大学およびタマサート大学の国際課の方々、恐らく独断で東京でのビザの手続きを勧めてくださった外務省の方など様々な人に支えられ、タイに来ることができました。

これから留学する方々には是非、早めに情報収集をしていただき、滞りなく不安なく留学準備を進めていただきたいと思います。その中でわからないことや不安があれば国際課の方々や留学経験者に相談してください。留学したいという気持ちを必ず応援していただけるでしょう。